

# 道連ニュース

2023年9月号 No.201

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

こくみん共済coop北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

## 2023年度 第2回 理事会開催報告

8月17日(木)ホテルポールスター札幌にて、五十嵐理事(学校生協)を議長に選出し、開催致しました。冒頭、中島会長挨拶のち以下の事項について提案があり、承認されました。

### 【議決事項】

1. 2023年度役員報酬の件
2. 厚生労働大臣表彰推薦の件

### 【審議事項】

1. D&I・ジェンダー平等の視点(※)での事業・活動の進め方に関する学習について  
※ダイバーシテイ(多様性)とインクルージョン(包摂性)を合わせた言葉で、多様な人を受け入れ、活かすこと、性差別、性別による固定的役割分担、偏見等が社会的に作られたものであることを意識していこうとする視点
2. 灯油の適正価格・安定供給の取り組み
3. LPガスの料金透明化・取引適正化の取り組み
4. 協同組合ネット北海道の取り組みについて
5. 労働者福祉協議会「勤労者・道民福祉の向上にかかわる要請」について

6. ほっかいどう若者応援★学生PJ報告と今後
7. 学校生協懇談会開催支援の件

### 【報告事項】

1. 一般活動経過報告
2. 2022年度第5回理事会議事録
3. 第67回通常総会報告について
4. 第67回通常総会議事録
5. 2023年度第1回理事会議事録
6. 2023年度第1回監事会報告
7. 2023年度第1四半期決算報告
8. 2023年度北海道・東北行政生協連絡会議について
9. こども食堂北海道ネットワーク活動支援報告について
10. 友好団体・協賛・後援の件
11. 北海道からの通知
12. 日本生協連北海道・東北地連報告

## 初の「チカホ・パネル展」開催

8/1~3

～こども食堂? 近所にはあるのかな? どんな活動を?～

こども食堂の支援活動を開始してから早くも7年の月日が流れ、道内のこども食堂、地域食堂も270ヶ所を超えて広がりを見せていますが実際に「こども食堂」「地域食堂」を目にする機会は開催頻度や実施施設との関係で多くはありません。以下、紹介させていただきます。

主催はこども食堂北海道ネットワーク、後援として北海道庁、札幌市未来局様に賛同を頂き開催しました。こども食堂や地域食堂の運営者さんからは「チラシ」「パンフ」の提供や、開催時間11時から18時までのお手伝いをお願いして3日間の対応を致しました。ネットワークパンフの配布数



で約500部を超えましたので足をとめて見入って頂いた道民・市民の皆さんの総数は約700名超とカウントしております。立ち上げたい! 寄付をしたい! 地域にこんな子ども達がいる! こういう場合どうする? と云った沢山の声を頂いた3日間になりました。



「目」に見える活動の深化・広がりへの連携を

今後とも宜しくお願い致します!

新聞・ラジオ、テレビを通じて「こども食堂」を耳にする機会は大きく増えていますが実際の現場に触れる機会は開催頻度や場所の関係で多くはありません。その意味では「目」を通じた「認知」は広がっていない事を痛感したパネル展になりました。道生協連をはじめ多くの協同組合陣営の支援を頂きながらネットワークを運営してきましたが一段進んだ仕掛けと参画を促す取り組みの重要性について、子ども真ん中社会! を目指す行政の取り組み等に連携する事の大切さも改めて学びました。幸いパネル展には道や市の子ども関連部局の方々も多数お越しいただきました。こども食堂北海道ネットワークへの広がり・結集を更に一回り強くしていく活動に2023年後半は取り組んでまいります。ご協力宜しくお願い致します。

～事務局長 松本～

# 「北海道のフィールドで協同組合を学ぶ」を開催

フレッシュマンセミナー ～協同組合ネット北海道との協同講義～

協同組合ネット北海道では北海道大学と連携し、北海道大学の1年生を対象にした一般教育演習（フレッシュマンセミナー）「北海道のフィールドで協同組合を学ぶ」を、フィールドと座学で学ぶ集中講義を企画し、開講いたしました。



1日目：道民の森での集合写真

## <授業の目標>

北海道の農村・地域における社会経済的課題について、協同組合がその解決にどのような役割を果たしているのかについて、座学及びフィールドで学ぶことを通じ、自ら課題を発見し、その解決策を考える力を身につけることを目的。

## <到達目標>

北海道の地域・農村社会を支えている「助け合い」「お互い様」という考え方が薄れている中で、競争原理とは異なる、協同の理念について座学と実体験を通じて理解する。

【日程・場所】・8月8日(火)：道民の森神居尻地区・増毛漁協

・8月9日(水)：北空知森林組合・JAきたそらち・北海道ロジサービス・コープさっぽろエコセンター

・8月10日(木)：北海道大学農学部（S31教室）にて、協同組合ネット北海道14構成団体による座学

【宿泊先】：北海道立青少年体験活動支援施設 ネイパル深川

【対象】：北海道大学1年生30名

【取得単位】：2単位

## <参加した学生の声>

- このセミナーを通じて、協同組合について全く知らない状態から、どのような理念に基づき、どのような組織があるのかを理解出来た。また、経験の浅い大学一年生が現場の方からお話を聞く事が出来る非常に貴重な機会を得られました。



1日目（夜）：  
ネイパル深川大研修室・振り返りの様子



2日目：  
北海道ロジサービス物流センター視察の様子



3日目：  
協同組合ネット北海道14団体による座学の様子(道生協連)



2日目：  
JAきたそらち精米センター視察の様子



2日目：  
コープさっぽろエコセンター視察の様子

- 普段自分が大学で何気なく利用している協同組合について本講義を通して深く広く学ぶことができたと思います。大学生協以外の団体の働きやそれに加入している北海道民の属性など初めて知ることが多く、またそうしたことを運営者から聞くことができたのはいい経験になりました。
- たくさんの施設を見学することができ、小学生の頃行った社会科見学を大学生になって再び体験することができたようだった。大学生の今だからこそ気づくことも多くあり、とても楽しかった。今後も施設の見学を多くとってほしい。また、協同組合について、現代の利益や効率を求める価値観とは違った、人々と自然と共存していく考え方を持つことの大切さを知ることができました。